

支援センターだより



御挨拶

静岡県警察本部長 津田 隆好

静岡犯罪被害者支援センターの皆様におかれましては、設立以来、多くの犯罪被害者やその御家族、御遺族に寄り添い、きめ細やかな支援活動に御尽力いただいておりますことに、心から御礼申し上げます。

会員の皆様におかれましても、こうしたセンターの活動を熱心に支えていただいておりますことに、深く敬意を表します。

さて、静岡県では、令和7年4月1日に「静岡県犯罪被害者等支援条例」の所管が警察から知事部局に移管されるとともに、多機関ワンストップサービス体制の構築、個々の犯罪被害者等の要望に応じた支援のコーディネートを行う職員の配置等による犯罪被害者等への途切れない支援の一層の充実強化に向けた各種施策等の整備が進められているところです。

静岡県警察としましては、犯罪被害者等のニーズを的確に把握し、県・市町等行政や関係機関、団体の皆様と連携して、必要な支援を行っていくとともに、交通安全意識の醸成、命の大切さを学び、犯罪被害者等への支援についての理解を深める活動を行ってまいります。

その活動の一つとして、今年度から、私がかつて勤務していた京都府において始まった、交通事故で亡くなった幼稚園児が持っていたひまわりの種を受け継ぎ育てる「ひまわりの絆プロジェクト」を推進し、これまで静岡市や浜松市、県内各警察署において近隣の幼稚園や保育園の園児に参加いただき種まきを行いました。

今後、水まきや肥料やり、種の収穫作業を継続して行い、種を引き継いでまいります。

犯罪被害者等支援を規定した条例や見舞金制度については、県内全ての自治体で施行整備され、犯罪被害者等支援をめぐる社会基盤は整いつつありますが、犯罪被害者やその御家族、御遺族の皆様が再び平穏な生活を取り戻すために必要な支援内容は多岐にわたっており、民間支援団体としての強みを活かした静岡犯罪被害者支援センターの活動は不可欠であると考えておりますので、今後とも御尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、静岡犯罪被害者支援センターの益々の御発展と会員の皆様の御健勝を心から祈念申し上げます。

～ 目 次 ～

- 巻頭挨拶：静岡県警察本部長 津田 隆好 様
- 「令和7年度第1回理事会・通常総会・臨時理事会」開催、組織概要
- 清水英之先生のご逝去を悼んで
- 令和6年度活動決算・令和7年度活動予算
- 令和6年度相談受理状況・直接的支援状況
- 養成講座開講、命の大切さを学ぶ教室、夏の交通安全県民運動出発式・ひまわり絆プロジェクト
- オンライン寄付システムのご紹介
- 会費納入者・寄付者ご紹介、寄付のお願い

静岡県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
認定NPO法人(特定非営利活動法人)

静岡犯罪被害者支援センター



電話相談

054-651-1011

受付時間：10時00分～16時00分

(土・日・祝日・年末年始を除く)

「令和7年度 第1回理事会・通常総会・臨時理事会」開催

令和7年5月29日（木）午後1時から第1回理事会が開催されました。議題として、①令和6年度事業報告・活動決算報告、②令和7年度事業計画・活動予算、③任期満了に伴う役員の選任、④感謝状贈呈者選考等について討議されました。更に、同会場において通常総会が開かれ、理事会で了承された議案について説明したところ、満場一致で承認され、新体制が発表されました。

更に臨時理事会において、理事長・副理事長・専務理事の互選を行い、

理事長 白井 孝一

副理事長 森 則夫、福永 博文、清水 英之

専務理事 三森 美津広

以上4名の就任が決定しました。

その僅か二週間後の6月13日（金）に清水英之の副理事長が急逝され、23日（月）に後任者を選任すべく臨時理事会を開催し、

新・副理事長 池田 剛志

の就任が決定し、支援センターの総括責任者「センター長」としてご指導いただくこととなりました。

急な役員体制の変更はありましたが、役員や会員の皆様方にご協力いただきながら、相談及び直接支援業務が滞ることなく、更なる充実、発展を目指していく所存です。



令和7年度 組織概要

役 職	氏 名	備 考	役 職	氏 名	備 考
理 事 長	白井 孝一	弁護士	顧 問	椎橋 隆幸	(公社)全国被害者支援ネットワーク理事長
副 理 事 長	森 則夫	福田西病院 理事長	顧 問	池上 重弘	静岡県教育長
副 理 事 長	福永 博文	浜松学院大学短期大学部名誉教授	顧 問	鎌塚 優子	静岡大学教育学部長
副 理 事 長 (センター長兼務)	池田 剛志	弁護士	顧 問	細川 光洋	静岡県立大学国際関係学部長
			顧 問	佐藤 弘道	静岡県警察本部警務部長
理 事	小澤 巖	静岡教育カウンセラー協会会長	顧 問	岡本 英次	静岡県弁護士会副会長
理 事	磯田 雄二郎	医療法人社団高草会 焼津病院 名誉院長	顧 問	加陽 直実	(一社)静岡県医師会会長
理 事	麻生 絵美	弁護士	顧 問	夏目 敏孝	(一財)静岡県交通安全協会専務理事
理 事	根本 泰子	静岡赤十字病院 産婦人科部長	顧 問	鈴木 啓夫	(一社)静岡県安全運転管理協会専務理事
理 事	大須賀 紳晃	株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社 代表取締役社長	顧 問	久田 英之	(公社)静岡県防犯協会連合会専務理事
理 事	江口 昌克	静岡大学学術院グローバル共創科学領域教授	顧 問	鈴木 正勝	(公財)静岡県暴力追放運動推進センター専務理事
専 務 理 事	三森 美津広	認定NPO法人静岡犯罪被害者支援センター事務局長	顧 問	鳥羽 茂	NPO法人静岡県ボランティア協会常務理事兼事務局長
監 事	勝山 靖久	税理士	顧 問	清澤 郁子	交通事故被害者遺族
監 事	芝 知美	司法書士	顧 問	小林 房枝	被害者遺族
事務局長:三森 美津広 事務局次長:藤原 智代 非常勤職員:大貫 正幸、種石 眞理子、増井 美江、橋爪 里奈			参 与	井上 淳	浜松医科大学児童青年期精神医学講座
			参 与	小竹 啓功	静岡県教育委員会社会教育課長
			参 与	高橋 勝	静岡県くらし・環境部県民生活局くらし交通安全課長
			参 与	杉本 俊一	静岡県警察本部警務部警察相談課長

～ 清水 英之先生のご逝去を悼んで ～

副理事長兼センター長 清水英之先生は、令和7年6月13日にご逝去されました。突然の悲報に接し、ただ驚くばかりで、まだ信じられない思いです。いつも優しい笑顔で、一人ひとりに柔らかい口調でお話してくださいました清水先生を忘れられません。

清水先生は、平成13年10月から静岡犯罪被害者支援センターの電話相談員として犯罪被害者等からのご相談を受けていただいたのが始まりでした。当時、静岡英和女学院大学人間社会学部教授として勤務されている傍ら、産業カウンセラーとして静岡県内の企業の嘱託カウンセラーとしても従事されている中、忙しい合間を縫って電話相談をご担当していただきました。

そして、平成18年6月に理事に、令和元年5月には副理事長兼センター長として就任され、多くの電話相談や直接支援に従事している事務局職員や犯罪被害相談員、直接支援員を常に気に掛けてくださいました。支援センターに来所された際には、相談等を担当した職員等の話を優しい眼差しで聞いてくださり、その優しさに相談している私たちも少しずつ心がほぐれていくのを実感し、「また清水先生にお話を聞いていただきたい」と誰もが思い、それはいつまでも続くと信じておりました。

これからは、あの誰をも優しく包んでくれる清水先生にお会いできないのかと思うと、ただただ寂しいですが、温もりに満ちた数々のお話は、私たちから消えることはありません。清水先生が思い描いていた「静岡犯罪被害者支援センター」に少しでも近づけるように白井孝一理事長のもと事務局一丸となって活動を続けていきます。

最後に、令和6年10月30日に開催されました自助会にコーディネーターとして参加していただいた際にお寄せいただいた原稿をご紹介します。



令和6年10月30日 静岡自助会「紫苑の会」に参加して

今年度第二回目の自助会が10月30日の午後一時半から開催されました。参加者は前回と同じく、四人の方たちでした。今回もコーディネーターとして参加させていただいたセンター長の清水から犯罪被害者の遺族の皆さんへの支援の在り方について報告させていただきます。

参加者の皆さんは、松本サリン事件で息子さんを亡くされたご遺族、アフガニスタンで事件に巻き込まれ殺害された息子さんのご遺族、そして、ミャンマーで観光旅行に行かれ途中事件に巻き込まれ殺害された娘さんのご遺族でした。皆さんは、毎回同じ話をして申し訳ないというお気持ちをお持ちのようでしたが、実の息子や娘を事件で突然失った心の傷は生きているかぎり消えないことを痛切に感じる事ができました。

遺族の皆さんの発言のなかで、頑張ってと言わないで欲しいという言葉が胸に響きました。なぜなら、一生消えない心痛を抱えていらっしゃるだけで生きているだけで精一杯だということが理解できたからです。息子さんや娘さんを突然失って、深い喪失感から自殺をしようと思われたそうです。当然、体調も崩され、薬を飲みながら生き延びていらっしゃる事が分かりました。私は、薬を飲まない方がよいと思っていますのですが、飲まなければ生きていけない現実があることを知りました。

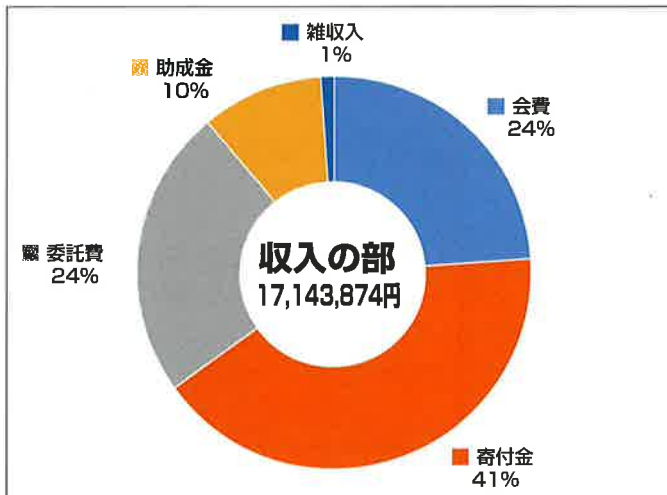
この自助会に参加された皆さんは、お子さんたちを犯罪で亡くされた被害者であるにもかかわらず、さらに世間から誹謗中傷を浴びることがあります。アフガニスタンで人道支援を行うことで英雄だと思われたり、その行為で世間を騒がせれば非国民だと言われたりします。今は、非国民という言葉を使う時代ではありません。それなのに息子さんを失った母親にそんな言葉を言い放つ国民がいるなんて、日本はなんと冷たい国なんのでしょうか。SNSの背後に空恐ろしい不満や怒りの渦を感じてしまいます。

テレビ局の取材にも冷たいものを感じました。映像に流そうとするシーンは、被害者の遺族の人たちの悲しみと涙が目的なのです。悲しみの言葉や涙を遺族に要求する取材者の強要に落胆せざるを得ませんでした。

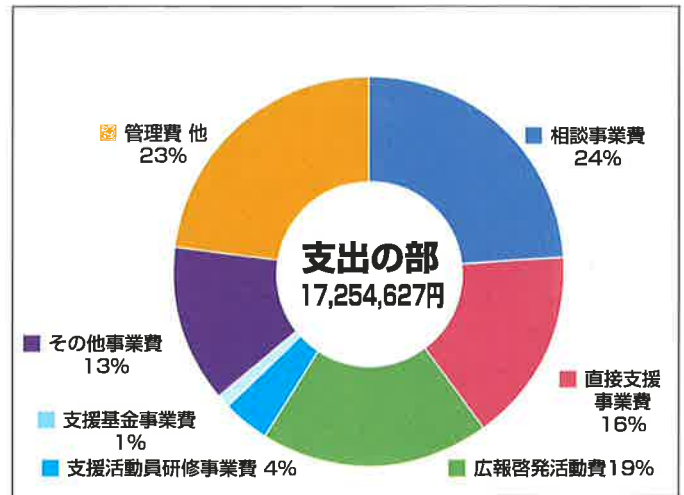
参加者のある方がおっしゃいました、「家族全員がそれぞれ愛する人を失っている」と。私には経験のないことなので、愛する人を犯罪で突然失った気持ちは正直分かりません。ですが、いつか夢の中で、娘が死ぬ光景を見たことがあります。私は夢の中でボロボロ涙を流していました。今回の自助会で一番心に残るお言葉でした。



令和6年度 活動決算



科 目	決 算 額 (円)
会 費	4,195,000
寄 付 金	6,979,830
委 託 費	4,060,980
助 成 金	1,716,506
雑 収 入	191,558
合 計	17,143,874



科 目	決 算 額 (円)
相 談 事 業 費	4,123,122
直 接 支 援 事 業 費	2,695,208
広 報 啓 発 活 動 費	3,368,177
支 援 活 動 員 研 修 事 業 費	729,105
支 援 基 金 事 業 費	156,750
そ の 他 事 業 費	2,202,592
管 理 費 他	3,979,673
合 計	17,254,627

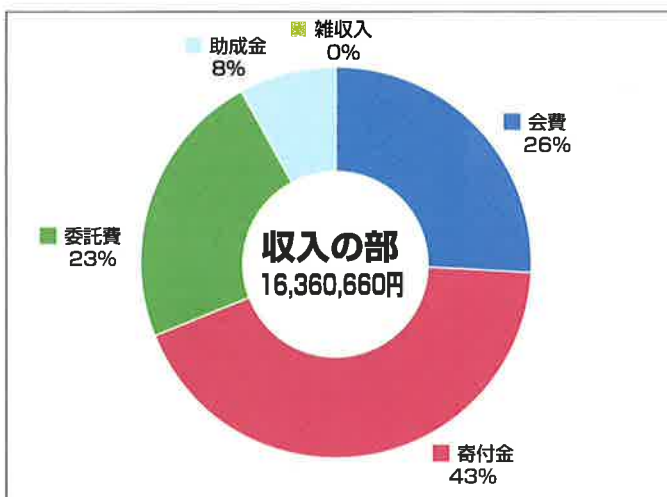
令和6年度は、日本財団預保納付金から助成を受け、「犯罪被害者支援に係る人材育成」事業として「犯罪被害者支援ボランティア養成講座」を開講し、新たに10人がボランティアとして登録されました。また、多様化する支援活動に柔軟に対応ができるよう犯罪被害相談員や直接支援員のスキルアップに努めました。

さらに、赤い羽根中央共同募金会から助成を受け、スマートフォンを活用した広報「スマホde啓発」を実施するなどし、広報啓発活動の充実を図ることができました。

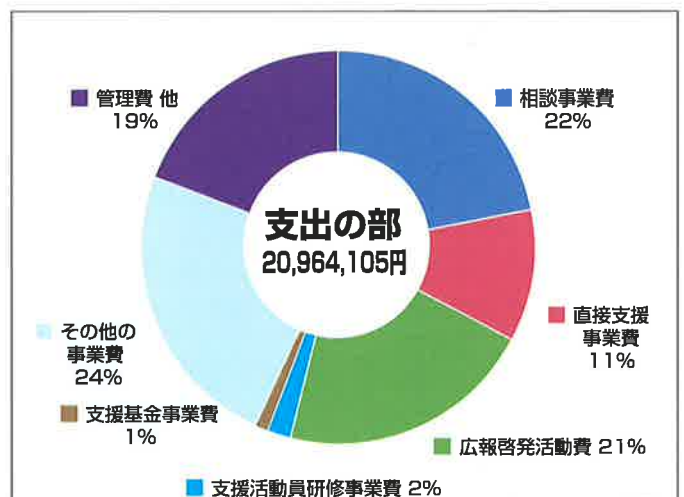
令和7年度も日本財団から助成いただき、人材育成に加え、これまでの寄付手法を見直し、オンライン寄付システムを新規に導入し、併せて既存のホームページをスマートフォン対応とし、アナログ的な寄付手法からデジタル時代に即した寄付環境の整備、広範な資金調達手段の拡充を図ります。

また、財政基盤の整備と並行して、認定NPO法人から『公益社団法人化』を目指し、より社会的な信用度・信頼度を高め、賛助会員等の拡充を図ります。

令和7年度 活動予算



科 目	予 算 額 (円)
会 費	4,283,000
寄 付 金	7,100,000
委 託 費	3,729,660
助 成 金	1,220,000
雑 収 入	28,000
合 計	16,360,660



科 目	予 算 額 (円)
相 談 事 業 費	4,649,920
直 接 支 援 事 業 費	2,379,740
広 報 啓 発 活 動 費	4,300,000
支 援 活 動 員 研 修 事 業 費	415,360
支 援 基 金 事 業 費	200,000
そ の 他 の 事 業 費	4,984,640
管 理 費 他	4,034,445
合 計	20,964,105

令和6年度 相談受理状況

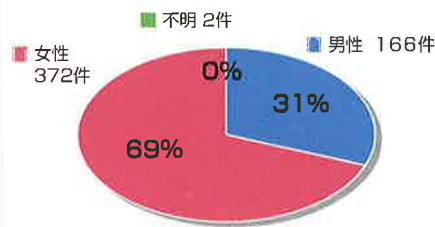
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1. 受理件数

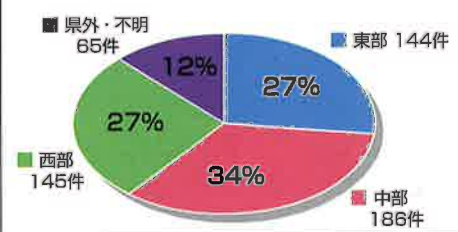
(件)

相談内訳	件数	前年比
電話相談	540	76
面接相談	10	△4
法律相談	16	3
合計	566	75

電話相談 男女別



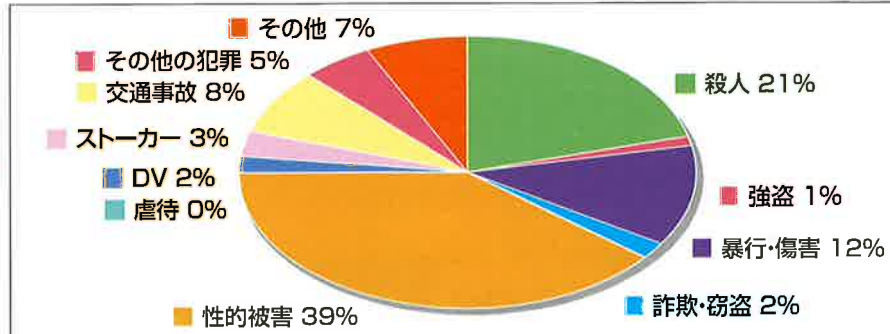
電話相談 地域別



2. 電話相談内容

(件)

内容区分	件数	前年比
殺人	116	△16
強盗	3	3
暴行・傷害	67	29
詐欺・窃盗	13	△5
性的被害	209	61
虐待	1	1
DV	10	9
ストーカー	14	9
交通事故	41	6
その他の犯罪	30	21
その他	36	△42
合計	540	76



【特徴・傾向】

令和6年度は、前年度と同様に性的被害の相談が増加傾向にあります。
また、令和5年度からの取組として、Web広告(バナー広告)を活用した『スマホde啓発』による「犯罪被害者等支援相談窓口」の存在を周知する広報の展開等、時代に即した施策により、相談件数の増加につながっているものとみられます。
今後も犯罪被害者等の方々への精神的負担軽減を図るとともに、相談者の皆様に寄り添った途切れのない対応に努めてまいります。

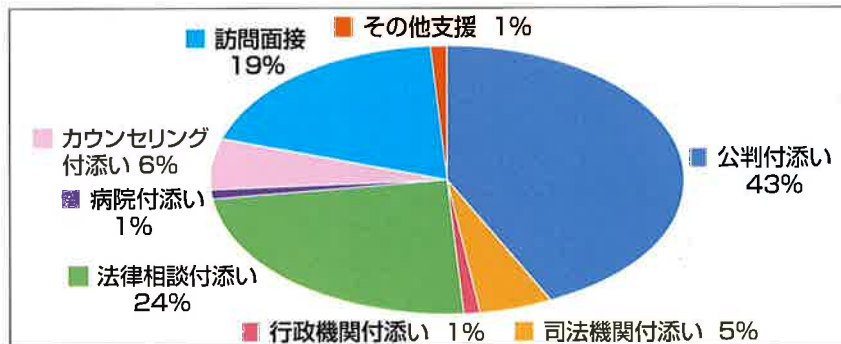
令和6年度 直接的支援状況

1. 支援件数

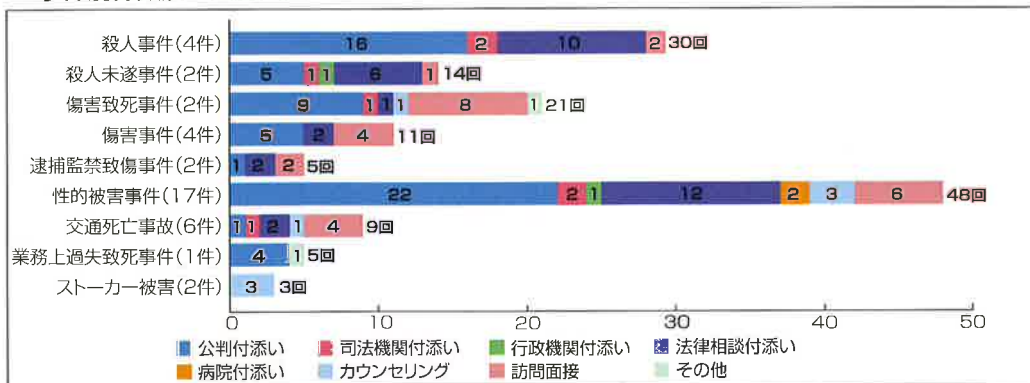
(件)

支援内容	支援件数	前年比
公判付添い	63	44
司法機関付添い(裁判所・検察庁・警察署付添い)	7	2
行政機関付添い	2	△4
法律相談付添い	35	20
病院付添い	2	1
カウンセリング付添い	8	△1
訪問面接	27	5
その他支援(関係機関との連絡調整等)	2	△1
合計	146	66

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)



2. 事件別件数及び実施回数



3. 情報受理端緒別

(件)

警察情報	37(27)
相談から移行	10
その他	3
合計	50(40)

※()内は、直支移行件数。

4. 地域別

(件)

東部	7
中部	20
西部	10
県外	3
合計	40

【特徴・傾向】

令和6年度は、殺人事件等の凶悪事件や性犯罪に関する刑法改正を機に、令和5年度に引き続き、性的被害事件に係る支援件数が増加しています。
支援内容では、殺人事件等の裁判員裁判が複数回行われ、公判付添いが倍増となっています。また、静岡県弁護士会犯罪被害者支援委員会との連携がより強まったことにより、法律相談付添いが増加しております。
引き続き、関係機関と連携を図りながら、犯罪被害者等の方々への必要な支援を継続してまいります。

令和6年度「犯罪被害者支援ボランティア養成講座」開講

日本財団預保納付金支援事業の一環として、5年ぶりとなる「犯罪被害者支援ボランティア養成講座」を開催しました。

今回は新聞広告を4回(特別広告枠1回・テレビ欄3回)掲載し、さらに市町広報誌へ掲載していただくなど受講生募集広報にも力を入れた結果、前回は上回る問合せや申込みがあり、書類選考の末11人が受講することになりました。



令和6年8月7日に開講式を行い、犯罪被害者の心理や警察・裁判所・検察庁における犯罪被害者支援などについて全11講座を受講していただき、個人面接等を経て、10人が支援ボランティアとして登録されました。

令和7年度は実務研修を通し、更なるスキルアップを図ります。

支援ボランティア受講生募集

認定NPO法人 静岡犯罪被害者支援センター
静岡犯罪被害者支援センターは、犯罪被害者支援ボランティア養成講座の受講生を募集しています。犯罪や交通事故などに遭われた被害者

者、そのご家族やご遺族の方々が抱える悩みの精神的負担の軽減や、心のケアを目的として活動しています。受講生の募集期間は、7月5日までです。詳細は下掲広告よりご確認ください。

犯罪被害者支援ボランティア養成講座 受講生募集

犯罪被害者やそのご家族、ご遺族に寄り添い相談に応じたり、警察・検察・公検・法務局等への付き添い支援を行うボランティアを募集します。

応募資格 年齢25歳以上の方(性別不問) 募集人数 15人程度

応募期間 令和6年8月7日(水)～令和7年1月15日(土)

研修期間 令和6年8月7日(水)～令和6年8月15日(土)

申込方法 下記支援センターまでお電話にて申込書をご請求。
ご記入のうえご返送ください。

期 切 令和6年7月5日(日)必着

お問い合わせ先 静岡犯罪被害者支援センター 054-651-1021
受付時間: (月～金) 午前9時～午後4時

犯罪被害者支援ボランティア養成講座 受講生募集

本日より募集受付開始

① 詳細はこちら
静岡犯罪被害者支援センター
054-651-1021
受付時間: (月～金) 午前9時～午後4時

犯罪被害者支援ボランティア養成講座 受講生募集

募集受付中

① 詳細はこちら
静岡犯罪被害者支援センター
054-651-1021
受付時間: (月～金) 午前9時～午後4時

犯罪被害者支援ボランティア養成講座 受講生募集

募集受付 締切近

① 詳細はこちら
静岡犯罪被害者支援センター
054-651-1021
受付時間: (月～金) 午前9時～午後4時

「命の大切さを学ぶ教室」開催

警察や教育委員会、学校関係者の皆様のご協力をいただき、中学校・高等学校6校において「命の大切さを学ぶ教室」を開催しました。5校で講師を務めていただいた築地秀将様は、平成31年4月にご息女(当時16歳)を交通事故により亡くされ、事故の2日後から数年間、通学時間帯に事故現場である交差点に立ち、同じような事故が起きないようにと旗振り活動され、現在は講演活動を通して亡くなられた娘さんと同世代の生徒に対して命の大切さを伝えていただいております。

令和6年度開催校

開催日時	開催校	受講者数
5月1日	静岡県立藤枝西高等学校	354人
5月31日	静岡市立東豊田中学校	679人
6月18日	静岡県立磐田北高等学校	699人
6月25日	藤枝市立高洲中学校	649人
10月25日	南伊豆町立南伊豆中学校	118人
12月16日	御殿場西高等学校	798人



夏の交通安全県民運動出発式・ひまわりの絆プロジェクト



巻き込まれる悲惨な交通事故をなくそうと、静岡県警察が2025年度から本格的にスタートさせた『ひまわりの絆プロジェクト』で、4月15日に種をまき、大輪の花を咲かせたひまわりに、静岡聖母幼稚園児と一緒に「思いよ届け、天まで届け」と声をかけ水まきをしました。静岡県内においても幼い子どもたちが被害に遭う交通事故が発生しています。こうした支援の輪が県内に広がり、悲惨な交通事故が一件でも減少することを祈るばかりです。

令和7年7月11日(金)、静岡県警察が主催する「夏の交通安全県民運動出発式」に白井孝一理事長が出席しました。駿府城公園にて行われた出発式には、白バイやパトカーの他、改正道路交通法の施行によりすべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となったことを踏まえ、ヘルメットを着用した自転車も隊列を組みました。

その後、幼い子どもたちが





キャッシュレス決済&ホームページがスマホ対応に!!



以前から、「クリック募金などを取入れて、もっと世の中に浸透させてほしい」「キャッシュレス募金などの仕組みができないでしょうか」とお問い合わせをいただく機会が増えておりました。コロナ禍の影響もありキャッシュレス決済利用者が急激に増加し、某テレビ局が行うチャリティー活動においてもキャッシュレス募金が入取られています。

そこで、令和6年度中にパソコン周辺機器を再整備し、セキュリティ・ウイルス対策を強化し安全面が確保できたことから、令和7年度中のキャッシュレス決済システムの導入を目指し、日本財団預保納付金支援事業の助成をいただき、コングラント株式会社様と株式会社静鉄アド・パートナーズ様にご協力を賜り、この程、キャッシュレス決済対応型の会費・寄付ページが完成しました。また、これまでの当支援センターのホームページのURLは「http」で脆弱性が課題であったことから、これを機に「https」に変更し、安心してホームページを閲覧・利用していただけるようにし、さらにスマートフォンでも見やすく表示されるように画面切替え対応を施しました。

これまで、個人の方も団体や企業の方も郵便局・銀行の窓口やATMで振込手続きを行っていただいていたのですが、その場から手軽に手続きができるようになりました。これを機会にもっと多くの方に当センターの活動趣旨にご賛同いただき、支援の輪が広がることを願っております。



トップページ【賛助会員の募集・寄付について】をクリック。



ページ内をお読みいただき、【賛助会員・寄付金のお振込みまでの流れ】にお進みください。

キャッシュレス決済の流れ



【賛助会員の方】をクリックしてください。
※ご寄付の方は【ご寄付】をクリックしてください。
その後の手続きの流れは、賛助会員の方と同じです。



決済方法を選択し、寄付金の金額を入力したら、【次へ】をクリック
クレジットカード(VISA・Master・JCB・AMEX・Dinersに対応)、Google Pay、Apple Payを利用できます。



申込者情報を入力しましたら、【決済画面へ】または【申し込む】をクリックしていただき完了です。

支援センターの運営を支えてくださる皆様

～こころより感謝申し上げます～

令和7年3月1日～令和7年6月30日

アイウエオ順(敬称は略させていただきます。)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	青木建設(株)	堀野 江利子	朝比奈 幹夫	芦川 忠盛
麻生 絵美	熱海瓦斯(株)	熱海市防犯協議会	熱海市防犯協議会	天野 一
(株)天野回漕店	(株)アンダーカーパーツ	飯田 喜一	伊豆急ホールディングス(株)	磯田 由美子
1040TOSHICLUB	伊藤 博	伊藤園ティーファクトリー(株)	伊東ガス(株)	伊東警友会
伊東市地域行政連絡調整協議会	猪之原 勝美	磐田警友会	磐田市役所	磐田地区安全運転管理協会
(株)エコワーク	江崎 和明	NDS(株)静岡支店	遠州信用金庫	大貫 正幸
岡村建設工業(株)	小澤 巖	御前崎市役所	掛川市役所	片田 弘子
(株)加藤鉄筋工業	嶋藤 一美	川崎工業(株)	川崎 見	川島 のり子
汗管興業(株)	函南町役場	神部 英子	菊川市役所	菊川地区安全運転管理協会
清澤 郁子	栗原 藤男	栗山 節夫	桑原 勝義	更生保護法入静岡県更生保護協会
(有)幸祐	湖西警友会	湖西地区安全運転管理協会	後藤 千代子	(株)コブレック
近藤鋼材(株)	佐野印刷(株)	JA静岡市上土支店	JA静岡市あさはた支店	JA静岡市あさはたじまん市
JA静岡市大里支店	JA静岡市大谷支店	JA静岡市長田支店	JA静岡市しづはた支店	JA静岡市しづはたじまん市
JA静岡市下川原支店	JA静岡市昭府町支店	JA静岡市高松支店	JA静岡市豊田支店	JA静岡市中瀬支店
JA静岡市南部じまん市	JA静岡市西奈支店	JA静岡市北部じまん市	JA静岡市薬科支店	JAとびあ浜松湖西地区支店
(株)静岡環境保全センター	(一社)静岡県安全運転管理協会	静岡県経済農業協同組合連合会	静岡県警察学校	静岡県警察カレンダー製作委員会
静岡県警察官友の会伊東支部	静岡県警察官友の会菊川支部	静岡県警察官友の会静岡中央支部	静岡県警察官友の会静岡南支部	静岡県警察官友の会島田支部
静岡県警察官友の会天竜支部	静岡県警察官友の会浜北支部	静岡県警察官友の会浜松東支部	静岡県警察官友の会藤枝支部	静岡県警察官友の会富士支部
静岡県警察官友の会牧之原支部	静岡県警察官友の会松崎支部	静岡県警察本部外事課	静岡県警察本部機動隊	静岡県警察本部警察相談課
静岡県警察本部刑事企画課	静岡県警察本部捜査第三課	静岡県警察本部地域課	静岡県警察本部留置管理課	(一社)静岡県警備業協会
(一社)静岡県警友会	静岡県高速道路交通安全協議会	(一財)静岡県交通安全協会	静岡県交通安全協会伊東地区支部	静岡県交通安全協会磐田地区支部
静岡県交通安全協会菊川地区支部	静岡県交通安全協会湖西地区支部	静岡県交通安全協会御殿場地区支部	静岡県交通安全協会静岡中央地区支部	静岡県交通安全協会静岡南地区支部
静岡県交通安全協会島田地区支部	静岡県交通安全協会清水地区支部	静岡県交通安全協会裾野地区支部	静岡県交通安全協会天竜地区支部	静岡県交通安全協会沼津地区支部
静岡県交通安全協会浜松西地区支部	静岡県交通安全協会浜松東地区支部	静岡県交通安全協会藤枝地区支部	静岡県交通安全協会富士宮地区支部	静岡県交通安全協会細江地区支部
静岡県交通安全協会牧之原地区支部	静岡県交通安全協会三島地区支部	静岡県交通安全協会焼津地区支部	(一社)静岡県指定自動車教習所協会	静岡県指定自動車教習所協会
(一社)静岡県自動車会館	静岡県司法書士会	(公社)静岡県防犯協会連合会	静岡県遊技業協同組合	静岡市遊技業組合
静岡中央地区安全運転管理協会	静岡南警友会	静岡南地区安全運転管理協会	しずおか焼津信用金庫	しずおか焼津信用金庫
島田掛川信用金庫	島田警察署	島田市自治会連合会	清水職場防犯協会	清水地区安全運転管理協会
清水町役場	清水 英之	下田警察署	下田有線テレビ放送(株)	(株)シャンソ化粧品
白井 正巳	(株)白鳥建設	白松弘美直子	杉山 一統	杉山 智彦
鈴木 啓嗣	鈴木 智子	鈴木 博子	鈴木 雅士	裾野警友会
裾野地区安全運転管理協会	スルガ銀行(株)	駿府警備保障	静岡信用金庫	(株)静岡鐵工所
セキスイハイム東海(株)	曾我 一洋	損害保険料率算出機構 静岡自動車損害賠償事務所	高橋 陽悦	高山 功
竹田 昌久	田中 広子	田中消化器科クリニック	谷川 治	種石 眞理子
中栄建設(株)	塚本 大	塚本建設(株)	土屋 雄二郎	坪井 邦彰
東遠遊技業組合	東海フットサービス(株)清水支社	東名興産(株)	(株)トカイ	戸本 松造
トヨタユニテッド静岡(株)	トヨタユニテッド静岡サービス(株)	内藤 恭治	永野 千恵	(株)中村組
夏目 敏孝	鍋倉 伸子	(株)ニコ	日本ビジョンを拓く会	日本軽金属(株)蒲原製造所
沼津警友会	沼津信用金庫	沼津地区安全運転管理協会	沼津東遊技場組合	根本 泰子
野田 貴広	ハナニ農業協同組合	萩原 浩	浜北警察署	浜北警察署管内職防犯協会
浜北警友会	浜松いわた信用金庫	浜松市自治会連合会	浜松中央警察署	浜松西地区安全運転管理協会
浜松東地区安全運転管理協会	原川倉庫運輸(株)	原本 英三	ハラダ製茶(株)	伴 信彦
東静岡天然温泉柚木の郷	引田 哲治	一杉 泰博	福地 明人	福永 博文
袋井警友会	袋井地区安全運転管理協会	富士伊豆農業協同組合	藤枝警友会	藤枝地区安全運転管理協会
藤枝遊技業組合	(株)フジエタード	富士市役所	富士商工会議所	(一財)富士心身リハビリテーション研究所
富士信用金庫	富士市役所	藤原 智代	芙蓉監査法人	(株)芙蓉リサーチ
フーズベイ静岡(株)	フルカワエイト(株)	(公財)星いさき社会福祉財団	細江地区安全運転管理協会	堀田 一希
本間 章浩	牧之原警察署	牧之原警友会	牧之原市役所	増田 享大
松下産婦人科医院	松永 しげ子	松本 喜代子	(株)MARUGOH	丸明建設(株)
三島-伊豆遊技場組合	三島警友会	三島市役所	三島商工会議所	三島信用金庫
三嶋大社	三島地区保護司会	弁護士法人三井法律会計事務所	三森 美津広	宮田 逸江
村田 篤義	明成警備保障(株)	望月 威男	森 則夫	焼津警察署
焼津警友会	焼津市役所	焼津市遊技業組合	焼津地区安全運転管理協会	安本 晋
安本 節子	数田 宏行	(株)ヤマエ長島建設	山岸運送(株)	(有)山崎建設
山本 正子	山本 正幸	雄大グループ(株)	湯田 アヤ子	湯田運送(有)
湯前 良一	吉田 倫子	吉田 雅博	(株)リサイクルクリーン	社会保険労務士法人ロームシステム
鷲巣 洋子	和田 篤夫	渡辺 忠昭	匿名(15件)	

《賛助会員・寄付のお願い》

静岡犯罪被害者支援センターの活動は、皆様の寄付金等で支えられています。
当支援センターの主な活動として、電話相談、直接的支援、支援員の養成・研修、広報啓発活動等を行っています。
被害者支援活動の趣旨にご賛同いただき、ご支援ご協力をお願いいたします。

賛助
会費

法人・団体
個人

10
10

10,000円以上
2,000円以上

賛助会員の方々には、広報誌「支援センターだより」などをお送りしています。
また、被害者支援講演会等のイベントを開催する際には事前にお知らせいたします。

【振込口座】
【加入者名】

郵便振替:口座番号 00870-7-50944
NPO法人静岡犯罪被害者支援センター

ホームページアドレス

<https://www.shizuoka-hhsc.jp>

後援

静岡県警察本部
静岡県犯罪被害者支援連絡協議会



発

行 認定NPO法人

静岡犯罪被害者支援センター

〒420-0032

静岡市葵区両替町1-4-15 芙蓉ビル4階

発行 月 令和7年 8月